



阪神カウンセリング・ラボ ニュースレター



2023 4月号



精神的安定に重要な機能を持つ、前頭葉

私たち人間の精神とは何かに関しては、長い間論じられてきた問題でした。感じたり、考えたり、行動したりすることの総和が、精神とすると、精神とは私たちがパーソナリティと呼ぶものとかげ離れていることはなさそうです。

1848年アメリカの鉄道建設中の事故で、作業員フィネアス・ゲージの頭を長い鉄の棒が突き抜けてしまい、前頭葉の大部分が破壊されてしまいます。医師の治療によって、半年後には回復したかのように見えたものの、以前とは異なり、彼は約束を守ることも、情動を抑えることもできなくなってしまったのです。仕事に就くこともできず、重度のアルコール依存症で事故の12年後に亡くなりました。

それまで、パーソナリティとは不変で実体のないものと考えられていたのに、この事例によって、脳が傷つくとパーソナリティが変化することを初めて証明することになりました。

前頭葉が損傷を受けると、その人のパーソナリティ特性の多くが失われます。

健康な前頭葉の働きは、以下のようなものです。（ ）内は、前頭葉の損傷による影響。

- ・将来の計画を立て、実行する。
- ・馬鹿な行動を止めさせる。（自制心を失い、客観的に見て後悔すべきことをしてしまう）
- ・自己認識（人の心を傷つけ不快にさせる 冷淡になる 無気力・無関心になる）
- ・融通性、柔軟性（状況に応じて対応できない、ルール・状況の変化を理解できなくなる）
- ・体の動きを支配する。
- ・ユーモアとモラルを備えた人間らしさ
- ・事前に判断する能力 社会的な規範に当てはまる行動を自身に促す
- ・受け取った情報をまとめ、全体像を組み立てる。記憶、知性、感情などの複雑な機能を統合する。

前頭葉は、人間らしさを司る重要な役割を果たしています。フィネアス・ゲージの事故ほど極端な例でなくても、その人自身が、精神的な苦痛や不安を引き起こし続けると、ノルアドレナリンやコルチゾールなどの毒性の強い神経伝達物質を自ら送り続けることになり、前頭葉にも影響を与え、脳の機能を脅かすこととなります。フィネアス・ゲージの事例は、精神状態を安定させることの重要性も教えてくれます。

〈参考「『人間とは何か』はすべて脳が教えてくれる」カーヤ・ノーデンゲン 誠文堂新光社〉

阪神カウンセリング・ラボ

<https://www.hanshin-cl.com/>

*** 梅田相談室**

〒530-0014
大阪市北区鶴野町4-11 朝日プラザ梅田9階910
Tel/Fax **06 - 6147 - 2533**
E-mail **hanshin-c.l@star.ocn.ne.jp**

*** 明石相談室**

〒673-0891
明石市大明石町1-7-4 白菊グランドビル512
Tel **078 - 917 - 6880**

